

暑い夏に背筋凍る体験

お化け屋敷リターンズ 13000人が悲鳴

背筋が凍る「お化け屋敷リターンズ」が6日、アイトピアホールで行われた。参加者は暗くおどろおどろしい館内を歩き、現れるお化けやゾンビに悲鳴を上げ、夏の風物詩を体感した。

かつて川開き祭りでは民間興行でお化け屋敷が催され、アイトピア通りに設けた見世物小

板が設置された。館内には人だかりができた。その印象は多くの人の思い出に残っており、一般社団法人石巻青年会議所（後藤峻理事長）が100回記念に合わせ、1日限定で復活させた。

70人に対応。演技指導や演出は、東松島市のおぼけ屋敷創作団体バケラッタ（外処健一代表）が務め、約13000人が暑い夏に涼しい体験をした。

石巻市の稲井地区から来た高橋幸奈ちゃん（7）は「ろくろ首にびっくりした」、弟の幸太郎君（4）は「ゾンビが怖かった」と泣きじゃくった。父の一輝さん（33）は「幼いころ、とても怖かったことを覚えている。子どもを連れて来られたことがうれしい」と話していた。

同会議所祭り実行委員会の千葉隆太委員長は「川開きのお化け屋敷は私にとっても子どもも子どもも楽しめるように工夫し、大盛況となった」と入場を待つ人の列に驚いていた。

【泉野帆薫】



迫るゾンビに足が止まる参加者